

活動・行事・等 参加報告書

報告日：H19年3月4日

活動・行事等名称	防災フェスタ2007in名古屋		報告者	前田 展雄
主催・共催名称	主催：あいち地域防災力向上協議会 共催：文部科学省 後援：内閣府			
日時	H19年3月4日(日)10時～16時			
場所	名古屋大学 東山キャンパス			
参加者	全体 500～700人	グループから 前田のみ		
内容	(別紙、パンフレット参照)			
セミナー	<p>1. 防災普及事業【防災シュミレーター】についての説明 名大 飛田助教授 3月中に公開目指している。アドレス：http://bousai.env.nagoya-u.ac.jp(現在閉鎖中) 容量が大きく、動作環境に制約はあるが、50mメッシュの情報は画期的。</p> <p>2. 減災のための国民運動 内閣府 西川参事官 地域と企業の防災強化を訴えた。</p> <p>3. 減災のための科学技術モエーション 隈本 北大教授 阪神・淡路大震災の結果が正確に伝わらず、減災対策の方向を誤らせた。特に行政の家屋倒壊対策への認識に誤りがある。</p> <p>啓蒙手段の紹介：およそ20のグループの紹介展示があった。印象に残ったのは、家具対策でのアップル方法。転倒状態を小さなコロを使って揺り、見せる模型と、実物大の家具と人形を使った組み合わせはリアルだった。防災運動会は、新しい着想。大声・水袋の的あて・バケツリレー・防災地図づくり・借り物・安全安心搬送・の6競技を行うもので、これらは防災訓練で行われている項目でした。(詳細、別紙参照)</p>			
感想	<p>1. 内閣府の西川参事官とは、以前から疑問に思っていた防災国民運動の中に「医療」が全く含まれて居ない点について、話し合った。参事官も重要性を認識しているが、医療関係者(別世界・分野別にバラバラの団体)への働きかけに悩みがあり、結局織り込めなかった。防災は平常時に必要性が薄いので、国から強く働きかけるには限界があるとの見解。 確かに、行政主導の自主防やボランティアは「やらされている」感じがぬぐえず、自主性に欠けるきらいがある。反面、力を発揮しているグループは自主性に富んでいる。</p> <p>2. 北大隈本教授の「科学と対策の整合」は新しい視点でした。科学者の情報を単に科学者の世界で止めず、これを行政や国民に承知し、理解して貰って、減災に役立てたい。その手段や体制を開発していきたい。との実践を北海道の各地で行っている紹介でした。</p> <p>3. 啓蒙方法の紹介は、新しい試みでした。これまでの啓蒙活動の経緯をたどると[地震の話][おどかし][文字や言葉での対策][体験型・見て理解]と変化(進歩)してきている。今回の展示は、防災運動会や他のイベント中に、防災を織り込んだり、ゲーム化したりで、「楽しく・さりげなく防災」の傾向が見えた。 大変好ましいことであるし、我々も刺激を受けて次の何かを考えていきたい。</p> <p>4. 催しの背景に『恐るべき名古屋』というキャッチフレーズがあった。これは名古屋の産・学・行・民の協働を表しており、静岡県における協働体制の貧弱さを認識させられた催しでした。</p>			

『防災フェスティバル in 名古屋』より

2007.3.5.

湖西市災害ボランティア 前田 展雄

当日配布のパンフレット（各画像はj p e gですので、画像上でクリックし、移動させ拡大して見られます）
結構いろいろな参加グループと内容がありました。

2F

シンポジウム
・成果報告
・基調講演
・パネルディスカッション
ファッションショー

9-10時 総合挨拶
10:00〜 防災行政の風を伝える演習/成果発表
11:00〜 基調講演
「震災のちがいの防災意識の進化」
①川口 浩 大塚市の防災意識の進化 防災行政の発展
「震災のちがいの防災意識の進化」
②藤本洋彦 北陸大学防災学部長/ディレクター/防災士の育成
「震災のちがいの防災意識の進化」
③川口 浩 大塚市の防災意識の進化/防災行政の発展
11:30〜 防災ファッションショー
11:40〜 パネルディスカッション/防災行政の進化について
登壇者 大塚市学芸部長 大塚市防災行政部長 川口浩 藤本洋彦
司会者 大塚市防災行政部長 藤本洋彦
コーディネーター 大塚市防災行政部長

防災プレゼンストリート

①「あなたも防災リーダー」
防災グッズ制作体験
②防災グッズ展示
③ロープワーク
④ガラスの特性、対策を学ぶ
⑤タンスの特性、対策を学ぶ
⑥建物の耐震性を学ぶ
⑦防災グッズ展示
⑧防災グッズ展示
⑨防災グッズ展示
⑩防災グッズ展示
⑪防災グッズ展示
⑫防災グッズ展示
⑬防災グッズ展示
⑭防災グッズ展示
⑮防災グッズ展示
⑯防災グッズ展示
⑰防災グッズ展示
⑱防災グッズ展示
⑲防災グッズ展示

1F

防災ルーム

① 防災ビデオ放映
② 防災ビデオ放映
③ 防災ビデオ放映
④ 防災ビデオ放映
⑤ 防災ビデオ放映
⑥ 防災ビデオ放映
⑦ 防災ビデオ放映
⑧ 防災ビデオ放映
⑨ 防災ビデオ放映
⑩ 防災ビデオ放映
⑪ 防災ビデオ放映
⑫ 防災ビデオ放映
⑬ 防災ビデオ放映
⑭ 防災ビデオ放映
⑮ 防災ビデオ放映
⑯ 防災ビデオ放映
⑰ 防災ビデオ放映
⑱ 防災ビデオ放映

屋外など

① 防災ビデオ放映
② 防災ビデオ放映
③ 防災ビデオ放映
④ 防災ビデオ放映
⑤ 防災ビデオ放映
⑥ 防災ビデオ放映
⑦ 防災ビデオ放映
⑧ 防災ビデオ放映
⑨ 防災ビデオ放映
⑩ 防災ビデオ放映
⑪ 防災ビデオ放映
⑫ 防災ビデオ放映
⑬ 防災ビデオ放映
⑭ 防災ビデオ放映
⑮ 防災ビデオ放映
⑯ 防災ビデオ放映
⑰ 防災ビデオ放映
⑱ 防災ビデオ放映

地域防災シミュレーターのパンフレット



表紙



2ページ



3ページ



4ページ

家具の転倒防止について。

まだ「脅かし」の段階であったが、そのアピールのやり方は参考になった。我々もバージョンアップさせなければ、と思う。ただし『どうすれば良いか』のアピールは我々の方が良いが、これも改善の余地がある。



小さな模型を固定したのと、してないの違いを見る。
台の下には木製の玉が敷かれており手で揺する



この人形の上に頭の上の家具を倒す。
家具は台車の上に乗せて揺する

防災運動会 (画像の上をクリックして、拡大して見て下さい)

これは防災訓練の内容を、運動会化したもと思ってもらえれば、イメージが出ませんか？



バケツリレー競争



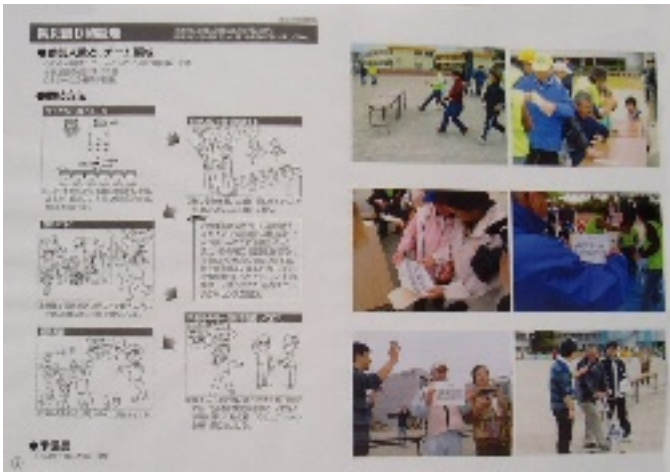
防災地図づくり競争



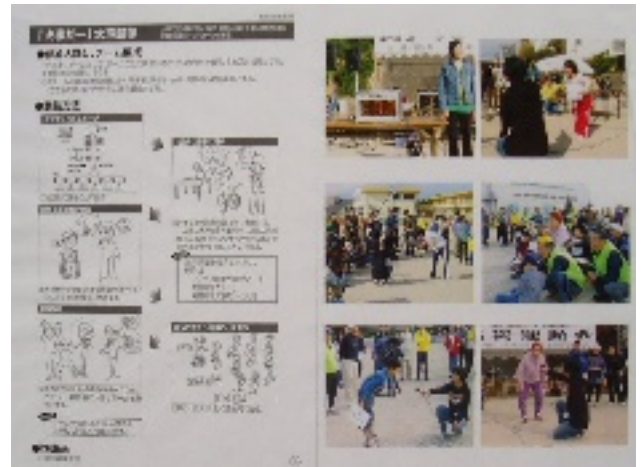
水パック消火競争



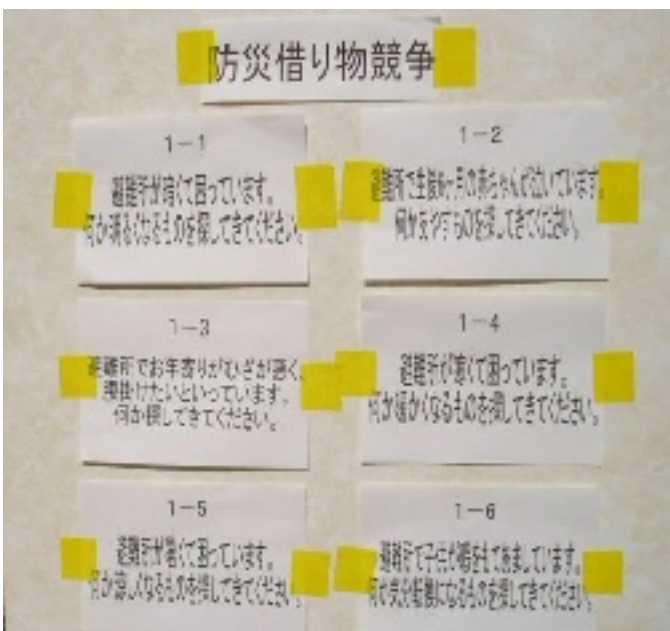
安全・安心搬送リレー



防災借り物競争



「火事だ！」大声競争



左は「借り物競争」での借り物の例です。

「避難通路が暗くて困っています。

明るくなるものを探してきてください」

「避難所でお年寄りがひざが悪く腰掛けたいと言っています。何か探してきてください」

「避難所が暑くて困っています。

何か涼しくなるものを探してきてください」

「避難所で生後6ヶ月の赤ちゃんが泣いています。

何かアヤスものを探してきて下さい」

「避難所が寒くて困っています。

何か温かくなるものを探してきてください」

「避難所で子供が暇をもてあましています。

何か気分転換になるようなものをさがしてきてください」

避難所にこだわらず、災害直後の探し物もあるでしょう。面白い展開になると思います。

この他に

- ・防災ゲームはゼミの若者が作ったもので面白かったが、貸し出し方式なので、利用範囲が狭い。
- ・組み立てて、家屋の強度を学ぶ紙細工は、小学校高学年には良いが、時間がかかる。
- ・ガラス対策の説明もあったが、これは我々の方がはるかに優れていた。
- ・紙芝居も「稲村の火」だけでは、限界がある。違う啓蒙項目の物語化が必要。
- ・100円ショップで売っている商品で、防災に利用できるものの展示は主婦向けに良い。
- ・防災ファッションショーは見なかったが、これも主婦向けか？
- ・NTTドコモが等身大の携帯電話ディスプレイで、伝言板の説明をしていたが、催しに向いて貰うには、数百人が参加するイベントであって欲しいとの事。静岡ドコモに問い合わせると良い。
- ・救急救命は受けていなかった。暗いイメージには参加しにくい？
- ・スタンプラリーは、多くを見てもらう為の仕掛けだが、商品目当てで、内容関係ナシの大人もいた。